

日本医療マネジメント学会 第9回福島支部学術集会を開催しました



平成30年7月28日(土)、福島テルサFTホールにて「日本医療マネジメント学会 第9回福島支部学術集会」を開催いたしました。

今回は大原総合病院が幹事として開催し、4カテゴリ全20演題の発表、3演題のパス展示、200名以上が参加した学会となりました。

学会長である佐藤 勝彦 院長の挨拶に始まり、特別講演として「包括ケアのための地域連携・マーケティング戦略を考える」と題し、社会医療法人財団 董仙会 患寿総合病院 理事長 神野 正博 先生による講演を開催しました。

各カテゴリに座長賞の受賞もあり、活気あふれる学会となりました。

酷暑の中、お集まりいただいた皆さまにおかれましては、誠にありがとうございました。



学会長挨拶 (佐藤 勝彦 先生)



特別講演 (神野 正博 先生)

第48回 福島わらじまつりに参加しました!



平成30年8月3日(金)「第49回福島わらじまつり」が開催され、大原記念財団は、わらじおどり第Ⅲ部に参加しました。

当日は、職員・看護学生合わせて230名が参加し、終始楽しそうな笑顔と踊りで福島の夜を彩りました。

今年は「福幸わらじ賞」を受賞し、当財団は、6年連続の入賞で、より一層団結力を強めることができました。

沿道にてご声援をいただきました皆様におかれましては、誠にありがとうございました。



大原記念財団は、これからも福島を元気に盛り上げるために、地域の活動に積極的に参加してまいります。

紹介受診に係る事前 FAX にご協力ください

日頃より、地域連携業務にご協力を賜り誠にありがとうございます。

当院では、ご紹介で予約をいただいた患者さまの事前 FAX をお願いしております。お送りいただきたい情報は、①診療情報提供書(紹介状および資料)、②保険情報の2点です。

事前 FAX をいただくことで、症状に合わせた**適切な予約の確保**が可能となり、また、患者さまが来院する前にカルテ・診察券作成ができることで**待ち時間の短縮**にもつながります。

ご登録医の先生方の引き続いてのご協力をお願い申し上げます。

Information

回復期リハビリテーション病棟では、患者様、ご家族様参加により、週1回レクリエーションを行っています。平成30年8月17日には、「上を向いて歩こう」、「青い山脈」などを参加者全員で大合唱し、明るい歌声が病棟内に響き渡りました。



7月27日(金)~7月29日(日)の3日間、「第17回 福島県小児糖尿病サマーキャンプ」が川俣町「おしまふるさと交流館」、月舘町「つきだて交流館もりもり」で開催されました。

インスリン療法を必要とする小中学生31名と、ボランティアスタッフ101名の総勢132名の参加となりました。手作りピザ・竹ごはん体験、謎解き宝さがし、キャンドルファイヤーなど子供も大人も汗だくで楽しめた3日間となりました。

今年は、大原総合病院が幹事となり、6階東病棟こどもセンタースタッフが中心となり企画・準備をしました。院内の多職種スタッフ、福島医大スタッフ、藤田総合病院スタッフの協力のもと無事に終えることが出来ました。



大原記念財団の理念

人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一步先行く医療を探求し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原総合病院 総合患者支援センター

発行者 一般財団法人大原記念財団

理事長 平子 健

電話 024(526)0371 ダイヤルイン

FAX 024(526)0935

代表 024(526)0300

住所 福島市上町6番1号

大原記念財団職員行動規範 10カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。